



令和5年度やましろ未来っ子みんなで HUG フォーラムについて

令和5年6月25日(日)宇治田原町総合文化センターで開催しました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に変更されたことを受け、人数の上制限などを設けず実施し、本センターの3階に、このホールの様子を御覧いただけるサテライト会場を設置するなど、工夫しながら開催をしました。また、例年、各PTA(育友会)には、本フォーラムにおいて、ポスターセッション及びその際に使用するパネル作成をお願いしてきました。令和5年度は、新型コロナウイルス感染防止や働き方改革等の観点より、提出いただいた広報誌を二次元コードから読み取っていただくことで、各単位PTA(育友会)の交流と代えさせていただきました。



開会行事

開会に先立ち、山城地方PTA連絡協議会森田会長があいさつをされました。
・社会の変化にとも考え方も大きく変化したこと。
・それともなって、自身の学校のPTA活動の見直しを行い、負担の少ない内容に改革を進められたこと。
等が話されました。子どもに一番近い保護者が子どもの声を聴き、学校に伝えより良い学校にしていきたいと話されました。



令和4年度山城地方PTA連絡協議会表彰

受賞された方々を代表して賞状を受け取っていただきました。皆様方のこれまでの活動が山城地方全体のPTA活動の発展につながっていること等を踏まえ、感謝の意を込めて、表彰させていただきました。



講演

「子どものウェルビーイングを支える
～家庭・学校・地域社会の協働～」

鳴門教育大学 准教授

木村 直子 様

「子どものウェルビーイング」とはどのようなものなのか、参加者にもわかりやすく話していただきました。

・ウェルビーイングとは、その人の中でバランスのとれた「よい状態」を大きくのびのびと育てること。

・ウェルビーイングは、環境との相互作用の中に実現されるため、「環境」が重要であること。

・子どもを取り巻く環境(家庭・学校園・地域・社会)は、子どもの最善の利益を保障した良い環境の中で「子どものウェルビーイング」を実現するという同じ目標を目指して協働すること。

・子どものウェルビーイングを実現するには、置かれる環境の良さだけでなく、子どもが自ら環境に働きかけることも重要で、「関係性を生きる力」を育むこと。

等について、会場全体が温かい雰囲気になりながら優しい言葉で話していただきました。

木村先生ありがとうございました。



薬物乱用防止・根絶アピール



地域学校協働活動について



閉会行事

京都府青少年育成協会

上田会長 閉会挨拶



下にある5つの誓いを基本にしながら、御自身の言動の気づきの視点にしていきましょと、参加者にお話いただき、会を閉めていただきました。

～ 口、耳、目、手足、心の使い方 ～

口：人に感謝の気持ちを伝えるために使おう

耳：人の言葉を最後まで聞くために使おう

目：人の良いところを見るために使おう

手足：人を助けるために使おう

心：人の痛みが分かるために使おう

